

奈良県知事杯第10回中学生硬式野球選手権大会

大会開催要項

1. 名 称 奈良県知事杯第10回中学生硬式野球選手権大会
2. 主 催 (公財) 日本野球連盟・奈良県野球連盟
3. 主 管 (公財) 日本少年野球連盟奈良県支部
(一財) 日本リトルシニア中学硬式野球協会関西連盟奈良ブロック
(一社) 全日本少年硬式野球連盟奈良支部
4. 後 援 奈良県・公益財団法人奈良県体育協会
産経新聞社・奈良新聞社・読売新聞奈良支局
朝日新聞奈良総局・毎日新聞奈良支局・奈良テレビ放送
5. 特別協賛 大和ガス株式会社
6. 協 賛 ゼット株式会社・株式会社マツダスポーツ
7. 会 期 平成30年8月25日(土) 開会式・一回戦 7試合
26日(日) 二回戦 8試合
9月 1日(土) 準々決勝 4試合
2日(日) 準決・決勝・閉会式 3試合
8. 会 場 佐藤薬品スタジアム、橿原市運動公園野球場、少年野球専用G他
9. 試合方法 トーナメント方式
10. 出場チーム 奈良県内中学硬式野球チーム
・ボーイズリーグ 10チーム
・リトルシニアリーグ 10チーム
・ヤングリーグ 2チーム
・他 1チーム 合 計23チーム
11. 表 彰 チーム表彰 優勝、準優勝、3位(2チーム)
個人賞 最優秀選手賞、敢闘選手賞(1位2名・2位2名・3位1名)
12. 大会規則 別に定める

奈良県第10回中学生硬式野球選手権大会

大会特別規定・補足

- ① ベンチは組み合わせ表の上段チームを一塁側とする。
- ② ベンチに入ることができるのは登録選手と監督・コーチ・スコアラー(マネージャー)等4名とする。
尚、当該試合の代表は、本部席に就くこと。
- ③ グランドインしたチームは本部の指示のもとに、速やかに試合前の練習を行うこと。
グランドルールがある場合はそれに従うこと。
- ④ 試合前のノックは5分間とする。ただし、試合進行、グランド状態により行わない場合がある。
- ⑤ 試合をスピーディーに行うため以下の項目を守ること。
 1. 攻守交代時に守備に移るチームがスピーディーにポジションにつくことはもちろんのこと、攻撃に移るチームも先頭打者とベースコーチはミーティング(円陣)に加わらず、所定の位置に速やかにつくこと。
 2. 投手は、投球板に触れている状態で捕手からサインを受けること。
 3. 打者はみだりにバッターボックスを出ることは許されない。たとえ、タイムを要求しても審判員がタイムを宣告しないときはインプレーとする。
 4. 次打者は、必ずウエーティングサークルに入り、投球時は膝をついて待機すること。
 5. 捕手は、投手に返球したり、野手に声をかけるために一球ごとにホームプレートの前に出ないこと。
 6. 投手の投球練習は初回及び交代時は7球、イニング時は3球とする。
- ⑥ 監督またはコーチがマウンドに行く制限は野球規則 5.10(1)を採用するが投手は自動的に試合から除かれることはなく、他の守備につくことができる。また、一度他の守備についたこの投手が再び投手の位置についても差し支えない。
監督またはコーチの指示、伝達は1試合で攻撃3回と守備3回の合計6回とする。延長またはタイブレークに入った場合は、それぞれで1回の指示、伝達を認める。(選手の怪我や交代などの指示、伝達は回数に入らない。)内野手が2名以上投手のところに行った時も1回に数える。
- ★ ⑦ 試合中、ベンチ横での投手の投球および野手の送球練習は、1組だけとする。
- ⑧ 試合中に次の試合のチームの先発投手はメンバー用紙交換以後にグランド内で投球練習をしても良い。ただし、危険防止のため補助選手(ヘルメット着用)1名を必ずつけること。
- ⑨ ゴミは球場(グランド、スタンドを問わず)に捨てず、必ず持ち帰ること。スタンドで応援する選手、保護者にも徹底すること。

奈良県第10回中学生硬式野球選手権大会

大会約款（大会特別規定）

本大会は奈良県の少年硬式野球団体同士が交流することにより、少年野球の普及と発展を図ることを目的とする。

大会運営にあたり、下記の大会特別規定を定める。

- ① 本大会に参加できる選手は所属団体の規定を満たす者で2018年6月末の時点で登録された選手とする。
- ② チームは単独チームとし、11名以上25名以内の選手で編成すること。また、ベンチに入ることができる監督・コーチ2名・スコアラーまたはマネージャーを含む4名までとする。選手・監督・コーチは同一のユニフォームを着用すること。ただし、所属団体に別の規定を有する場合、それを優先する。背番号は所属の団体の規定の通りとする。
- ③ 2018年度公認野球規則と下記の細則により試合を行う。
 1. 各チームの主将は試合開始40分前、または前試合4回終了後（コールドゲームの時は試合終了次第）所定の先発メンバー表を本部に4部提出し、同時に審判員立会いのもとで攻守を決める。
 2. 各試合7回戦とし、4回終了時10点差、5回以降7点差の場合、コールドゲームとする。
また、本大会は、サスペンデッドゲームを適用しない。
 3. 原則7回までとし、4回以降100分を超えて新しい回に入らない。尚、同点の場合はタイ・ブレークを適用する。
 - ✖ 4. 7回終了後、同点の場合は、8回よりタイ・ブレーク（1アウト満塁継続打順）を採用する。尚、タイ・ブレークは、3回までとし、3回を終えて同点の場合は、抽選とする。
 5. 降雨、日没その他の理由により、試合続行不可能の時、4回終了をもって正式試合とし、それ以前の場合または同点の場合は再試合とする。
 6. 投手の投球制限については、1日7イニング以内とし、連続する2日間で10イニング以内とする。また、1日に複数試合に登板した投手及び連続した2日間で合計5イニングを超えた投手（5イニングは可）は、翌日に投手または捕手として試合に出場できないものとする。ただし、イニングの端数（1/3または2/3）は1イニングとみなす。
 7. 選手が打席に入る時は、必ず両耳付きヘルメットを着用すること。また、走者になっても危険防止のため必ず着用すること。また、ベースコーチも着用のこと。なお、捕手も防護用ヘルメットと所定の防具を着用（練習時も含む）すること。
 8. 代替え走者は認める。ただし、特別な事情の場合（死球など）により少し休めば試合に出場できると審判員が判断した時に適用できる。この場合、その打者の最も近い打撃の完了した選手（投手を除く）を代替え走者とする。
- ④ 各チームは必ず成人である責任者が引率し、大会中、選手の全ての行動ならびに応援に対して責任を負うこと。
- ⑤ 審判に対する申し出は監督が行う。ただし、審判のジャッジには抗議できない。
- ⑥ 傷害処置については、大会中の負傷または疫病に対して応急処置は施すが、それ以上主催者は責任を負わない。

奈良県知事杯第10回中学生硬式野球選手権大会

「大会本部より参加各チームにお願い」

お願い

- ① 8月25日（土）開会式 ・集合 午前8時00分佐藤薬品S（多目的広場）
・服装 各チームのユニフォーム（運動靴）着用
・各チームのプラカードと団旗を持参のこと

②大会の運営をスムーズに行うためにご協力をお願いします。

- ・各チームの当該試合には5人の大人の方が試合開始予定時間の1時間10分前に、各球場に集合して下さい。

合計10人の大人の方には試合前のグラウンド整備とライン引き、試合中のファールボール拾い及び試合後のグラウンド整備等をお願いします。

- ・8月25日の開会式については、各リーグ大会委員の方に、佐藤薬品スタジアムに午前7時15分に集合していただいて、開会式の準備と手伝いをお願いします。

受付・来賓対応	Y.R（ヤング・レッド）	県野連	（井本・井上）
選手召集・誘導	S（シニア）	県野連	（梅本・的場）
グラウンド設営・旗	B（ボーイズ）	県野連	（駒村・中川）

③大会本部への連絡・問い合わせ

奈良県野球連盟	井本（大会委員長）	090-1918-4913
	梅本（専務理事）	090-3844-8074
	井上（事務局長）	090-2593-9629
	中川（常任理事）	090-3034-8215

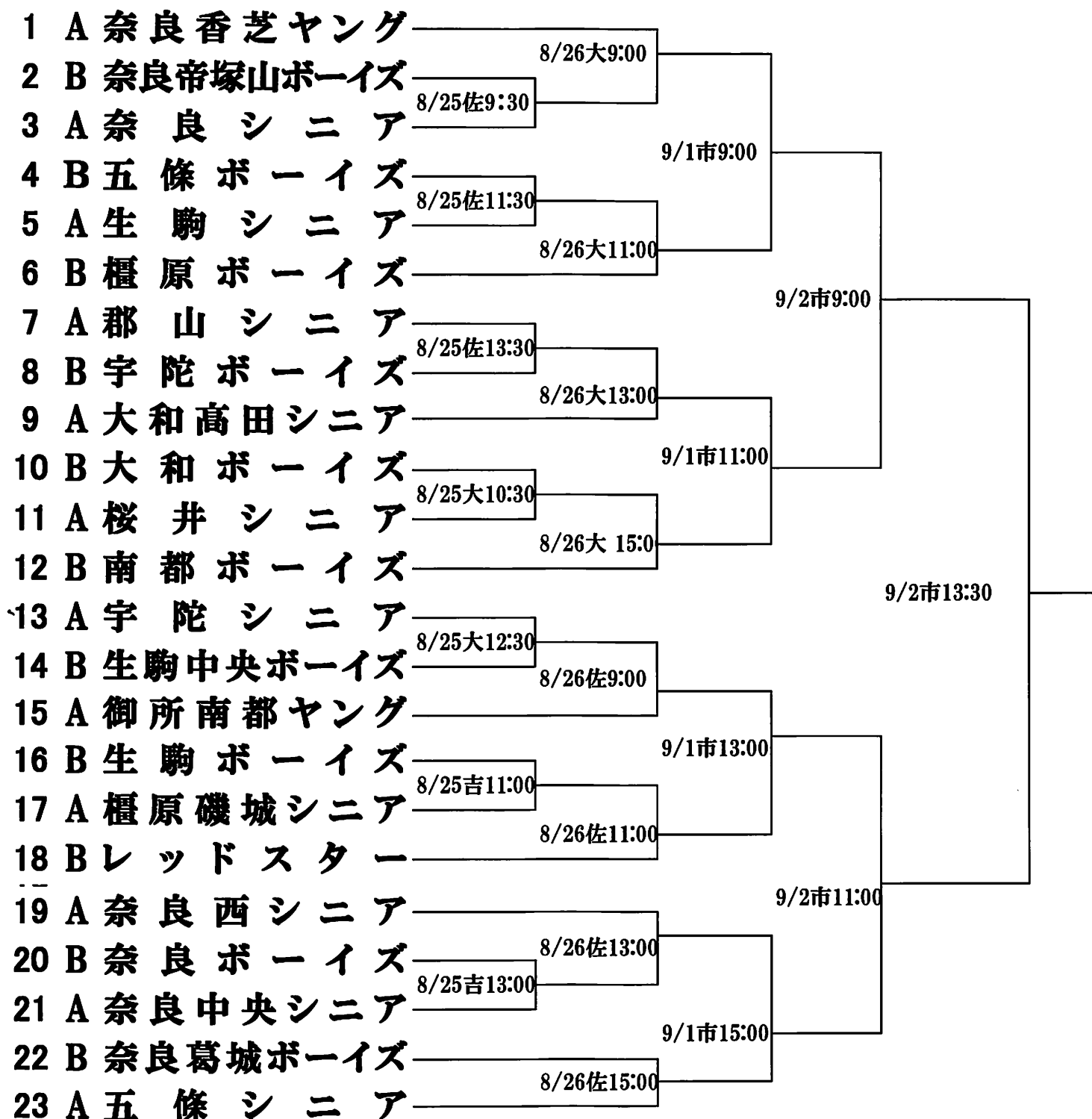
奈良県知事杯第10回中学生硬式野球選手権大会

佐：佐藤薬品スタジアム

市：橿原市運動公園野球場

吉：吉野運動公園

大：大和ガスグラウンド



*若番号：一塁側